

ごみ減量の効果

- ・夏野菜のスイカ・トマト・ゴーヤ・キュウリなどは水分が多く、ごみ出しに悩んでいたが、ダンボールコンポストで、かなりごみの減量化につながった。
- ・水分の多い野菜くずは、分解も早く、どんどん処理できた。
- ・生ごみをコンポストに入れることにより、燃やすごみの量が激減したことを毎回感じ、うれしくなった。
- ・ダンボールコンポストを始めてから、なるべく生ごみを少なくするように、調理の仕方にも工夫するようになった。残った惣菜は、形を変えて次の食事に利用した。
- ・投入しても投入しても、全体の量が増えなかったのは、急速に発酵し、分解されている効果なのだろうが、不思議な感じがした。
- ・3人家族で、一日の野菜くずが500g前後出ていたが、その分のごみを減量できた。
- ・これまでも庭のコンポストボックスを20年近く利用してきたので、減量には変化はないが、室内倉庫で実施したため、ごみ捨ては楽だった。
- ・目で確認しながら、確実に基材と混ぜ合わせることで、発酵も早く進んだと思う。
- ・ごみ減量にはなると思うが、投入時に細かく切る作業が面倒。
- ・以前から、生ごみはほとんど毎日、畑へ持って行き、生ごみを入れる場所を作って、処理していたが、畑がない人には、ダンボールコンポストはいい事だと思う。
- ・葉物野菜の外葉は、今まではごみに出して、かさ張っていたが、コンポストに入れるようになったので、燃やすごみの量を少し減らすことができた。
- ・週2回のごみ出しが、1回になった。
- ・生ごみに、ビニールや紙ごみなどもつい入れてしまっていたが、分別に気をつけるようになった。
- ・生ごみはこれまでも畑のコンポストに捨てていたもので、減量の効果自体は変わらない。
- ・1か月あたり12kg分の生ごみが減量できたことを思うと、面倒くさがらずに取り組みさえすれば、大きなごみ減量化に貢献できるのでは、と感じた。
- ・「ごみとして捨てていいのか」と考えさせられ、なるべく残飯を出さないように工夫するようになった。

